

小国高校

vol 172

2012.4

ジャーナル

新校長あいさつ

本校は小国町内唯一の公立高等学校として、町の教育の根幹である連携型小中高一貫教育の最終学校段階を担っています。平成13～18年度の6年間、文部科学省研究開発学校として実践を重ね、現在も国際理解教育や情報教育を推進しながら、地域に貢献するとともに国際社会に生きる力を身に付けた人材の育成に努めております。

1年次にブリティッシュヒルズ（福島県）での英会話宿泊研修、2年次にロサンゼルスへの海外修学旅行、3年次にロサンゼルスとコロラドへの短期留学派遣など実践的な体験学習に力を入れています。また、情報処理、英語、ワープロ、簿記などの検定試験の取り組みや、大学と連携した生徒の研究活動などを通して、生徒の向上心と学習意欲を高める教育を行っています。

大学や短大の先生から指導いただく「地域文化学」は、本校の特色ある科目であり、小学校からの地域学習の集大成として高い評価をいただいています。

これら本校の特色ある教育活動は、多くの地域の方々の支えがあってこそ成り立っており、小国町はじめ本校同窓会、学校後援会、PTA、町民の皆様からの物心両面にわたるご支援に、心から御礼を申し上げます。学校創立64周年となる今年度は、本校がこれまで積み上げてきた数々の素晴らしい成果を継承し、さらに発展・充実させてまいります。これからも、本校生徒の活躍をご覧いただき、ご声援を賜れば幸いに存じます。



宮野悦夫 校長

アメリカでの短期留学

3月10日～3月24日の日程で、4名の生徒がホームステイをしながらアメリカの高校の授業を体験してきました。植村裕斗(3-2) 笠原美寿々(3-2) がロサンゼルス・ベニス高校へ、長濱千佳(3-2) 安部真悠子(2-2) がデンバー・イースト高校へ派遣されました。それぞれの生徒は充実した2週間を過ごし、英語を学び世界を知ることの大切さを実感してきました。

